中津川市坂本小学校だより

羅漢（らかん）

運動会特別号

キラリあふれる運動会

～A（あいさつ） A（あんぜん） O（思いやり）～

校長 景山 国博

10月24日（土）の運動会まで、いよいよ1週間を切りました。先日、6年生の運動会実行委員会・応援リーダーのみなさんとランチミーティングを行いました。子ども達は「どんな運動会にしたいか」「そのために自分たちは何をするのか」という質問に対し、それぞれの想いを語ってくれました。

【青団】団長　長尾 龍成さん

勝ち負けに関係なく全員が「全力で楽しめる」「心をひとつに協力して頑張れる」「楽しかったと言える」運動会にしたい。 そのために、団長や最高学年として誰よりも大きな声で自分から応援して盛り上げること、相手の話をしっかり聞くこと、お互いに協力し合うことを意識する。

【黄団】団長　加藤 日向さん

「かがやきキラリあふれる」「みんなが楽しかった・最高だったと言える」「全員が全力で取り組める」運動会にしたい。そのために、自分から進んで全力で声を出し応援・牽引することに加え、日常の授業での挨拶、挙手、姿勢（足ペタ）や「坂本の３つの宝」など、普段の学校生活から自発的に行動する。

【白団】団長　加藤虎次郎さん

みんなで声をかけ合い協力し合える」「明るく活気があり最後まで全力を出し切れる」「一人一人が楽しめる」運動会にしたい。そのために、実践計画・取り組み・当日は率先して大きな声で応援し、困っている人がいたら積極的に声をかける。日常面では、大きな声での挨拶や掃除、チャイム前着席、授業を最後までやり抜く姿勢を大切にする。

【赤団】団長　赤岩悠太朗さん

「キラリあふれる」「勝っても負けても最後まであきらめない」「全校で協力し合える」運動会にしたい。そのために、自分から声をかけたり助け合ったりしてお手本となる行動をとる。さらに、日常の「さかもと掃除」、トイレのスリッパ揃え、ゴミ拾いなど、「当たり前のことを当たり前にやる」習慣を重視する。

【実行委員会】 委員長 太田清士郎さん

全校のお手本となり、挨拶・挙手・清掃などの日常の行動を通して「全員が輝き笑顔になれる運動会」を目指す。





高学年 係会の様子より

どの児童からも「全校が」「楽しめる」「協力して」そして「日常の行動をより良くしていくという言葉が聞こえてきました。

私からは、「まずは自分から行動すること、そして、仲間に思いを伝える事を大切にしてほしいことを伝えました。